

依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

成功を求めるより、挑戦すること
求めた方が、人は成長する

今月の一言

平成28年度に発生した
林業死亡災害の特徴

年末年始無災害運動

働く人達が年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるように、“安全最優先”の考え方を基本に、1つ1つ着実に実施する。

とりわけ年末年始は、慌ただしく、生活リズムも変わりやすく、大掃除や機械設備の保守点検・始動等、非常作業が多くなる。

各事業場、職場では、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの見直し、安全確認の徹底等に努める事が、普段に増して重要である。

リスクアセスメントに取り組もう



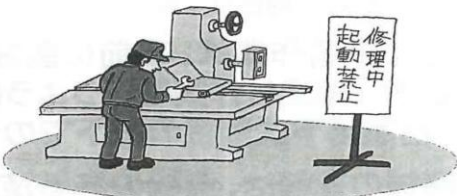
KY (危険予知)、ヒヤリハット活動を進めよう



4S (整理・整頓・清掃・清潔)を徹底しよう



機械設備の作業前点検、非常作業の安全確認を徹底しよう



冬山作業における労働安全の確保

冬山作業での注意事項*

- 積雪・凍結により林内が滑りやすい状態になっているので、滑り止めの着用、移動に十分注意する。
- 寒さのため体が動きにくくなるので、作業前の体操、体をほぐすとともに、手元、足元、周囲の確認など、作業環境を把握し、基本動作を繰り返す。
- 積雪時の伐倒作業は特に、足元の確認、足場の確保、頭上の状況を把握する。
- 車両の運転にあたっては、路面凍結、積雪がある場合は、速度、車間距離、ハンドブレーキ操作に注意し、予め滑り止め装着して注意する。

特徴1 伐倒作業での死亡災害が多発。特に自己伐倒の割合が急増

—原因は、伐倒前の確認不足や、かかり木の不適正処理—

特徴2 林業死亡災害の6割強が60歳以上の高齢者

—高齢者が全体の64% 高齢者への配慮等、対策が急務—

特徴3 車両系木材伐出機械による死亡災害が増加傾向

—車両系林業機械による集運材作業が増加傾向へ—